



わかやま

No.6 3

和歌山県精神保健福祉センター 2015年5月

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課長 中林 憲一

「県障害福祉課長に就任して」



4月の人事異動で和歌山県障害福祉課長に着任した中林憲一です。これまでの県庁生活では、企画や広報、防災危機管理部門での在籍が長く、福祉部門での仕事は全く初めての経験で、今も、毎日、課内や訪問先で飛び交う「専門用語」にとまどいつつ、新たな出会いに恵まれ、「新米課長」として新鮮な日々を送っています。

私は、家に帰ったら部屋の灯りを付けるより先にテレビの電源を入れるほどの「テレビっ子」です。広報課時代に身についた「ニュースチェック」は今も欠かしませんが、ドラマも結構見ます。今春スタートしたドラマの特色は、精神科医、知的障害者、ここに傷を負った人たちが各々主人公として描かれた作品の存在でしょう。もちろん、ドラマでありフィクションの世界なので、現実世界にそのまま当てはめるには無理な展開もありますが、こころを病んだり障害をお持ちの方への接し方、職場の同僚先輩や家族の思いなど、「新米課長」が経験値を上げていく上で、とても勉強になっています。

障害福祉政策は、平成15年度からノーマライゼーションの理念に基づいて導入された支援費制度により充実が図られました。しかし、多くの問題点も指摘され、改正を重ね、平成18年度から障害者自立支援法、平成25年度からは障害者総合支援法が施行されています。

また、障害者基本法の改正、障害者差別解消法の制定などの法整備も進み、昨年（平成26年）、障害者権利条約が批准・発効しました。

制度の改正や新設に伴い、どんなに重い障害があっても、障害のない人たちと同じように、地域で自立した生活を送ることができるようにその仕組みが変わり始めました。

県でも、このような状況を踏まえ、今後更に障害者の自立と社会参加を促進し、「共生社会」の実現を図るため、昨年、「紀の国障害者プラン2014」を策定したところです。

精神保健福祉の分野では、今年4月から、県立こころの医療センター内に「精神科救急情報センター」を設置し、夜間休日における精神保健福祉士等による受診相談窓口として、患者、家族の利便性の向上や民間病院の医師、看護師の負担軽減を図っています。

また、早期退院・地域定着のための精神障害者支援体制整備にも着手し、医療機関と相談支援事業所との連携による1年以上の長期入院患者を対象とした退院支援などを行っています。

前任の宮腰課長は、「現場」を大切にしていると聞いています。「新米課長」も「現場」に出る機会をできるだけ多くして、地域の実情を肌で感じたいと考えています。

即戦力となれるかは、これからの精進次第ですが、精一杯頑張りますので、関係者の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

もくじ

- P1 県障害福祉課長に就任して
- P2 シリーズセンター長だより／平成27年度精神保健福祉センター相談案内
- P3 平成27年度精神保健福祉センター相談案内
- P4 活動紹介「フリースペースメンバー手記」／こころの集い「落語」と「講演会」開催について
- P5 和歌山メンタルヘルス／研修案内／開催報告
- P6 は一とふるネットワーク／編集後記

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193



シリーズ センター長たより②②

和歌山県精神保健福祉センター所長 小野 善郎

ノンアルコールビール

前回に引き続きアルコールに関する話で恐縮ですが、今年は5月から暑さが続き、夏本番を前にすでに冷たいビールを求める日々が続いています。でも、言うまでもないことですが、自動車を運転する時には決して飲んではいけません。依存症の問題もそうですが、アルコールとの付き合いには、いつも分別が求められます。しかし、それでも「飲みたい!」という人たちの熱い想いに日本のビール会社が応えて誕生したのが、アルコール分0.00%のノンアルコールビール（正式にはビールテイスト飲料）で、2009年のキリンフリーの発売以来、売り上げは急増しています。もともとのノンアルコールビールはアルコール分が1%未満のものを言うそうなので、運転するときには、自己責任において確かにアルコール分が0.00%であることを確認しなければなりません。

先日、県内のラーメンのうまい中華料理店にみんなで行ったときに、私は車で行っていたのでノンアルコールビールを注文したのですが、なんとそこで出てきたのは中ジョッキに注がれたものでした。ふつうは瓶のまま出されるのでラベルで確認できますが、これではアルコール分がゼロであることが確認できません。だからといって飲んで確認したのではあとの祭りです。もし店の人が間違えて出したとしても、最終的には飲んで車を運転した本人の責任は免れません。幸い、間違いなくノンアルコールだったので、無事に帰ることはできましたが、ノンアルコールといえども自己責任をしっかりと意識しなければと再確認した経験でした。



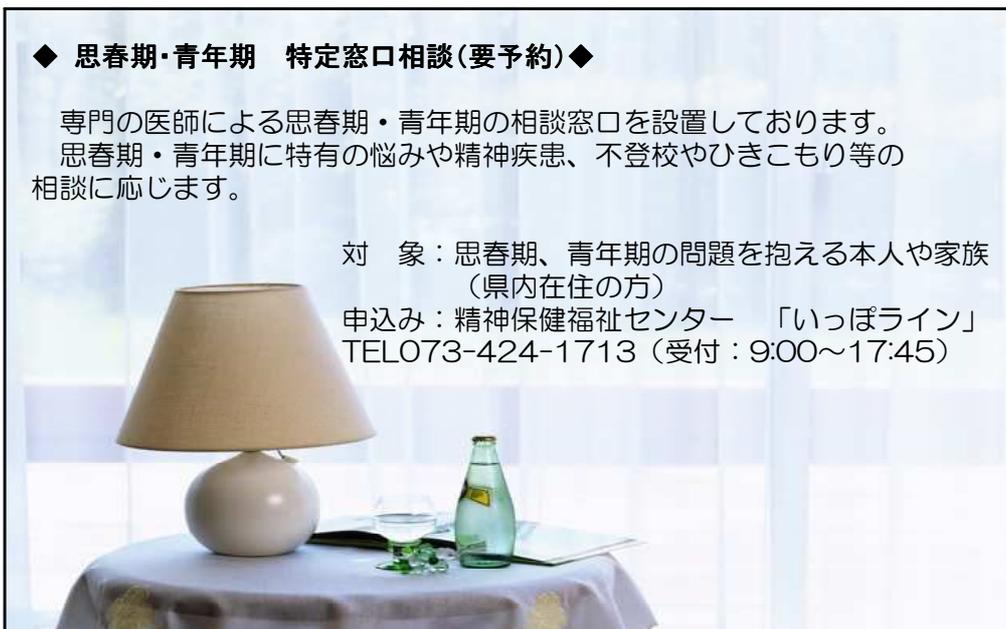
平成27年度 精神保健福祉センター相談案内

◆ 思春期・青年期 特定窓口相談(要予約) ◆

専門の医師による思春期・青年期の相談窓口を設置しております。
思春期・青年期に特有の悩みや精神疾患、不登校やひきこもり等の相談に応じます。

対 象：思春期、青年期の問題を抱える本人や家族
(県内在住の方)

申込み：精神保健福祉センター 「いっぽライン」
TEL073-424-1713 (受付：9:00～17:45)



◆薬物依存の個別相談◆

相談時間 : 月～金 10:00～16:00の間の40分程度(予約制)
 相談場所 : 和歌山県精神保健福祉センター
 (和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階)
 相談対象者 : 違法薬物、危険ドラッグ、処方薬などの薬物依存にお悩みの方
 料金 : 無料



◆薬物依存症の家族のつどい◆

日時: 毎月第2水曜日 13:30～15:00
 場所: 和歌山県精神保健福祉センター プレイルーム
 対象者: 違法薬物、危険ドラッグ、処方薬などの薬物依存
 内容:

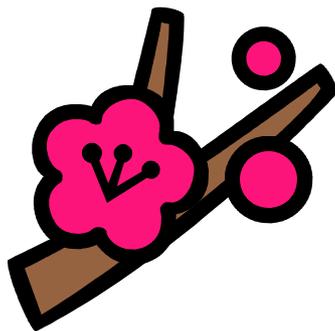
| 日 | 内容 |
|-------|-----------------------------|
| 6月10日 | コミュニケーションスキルの改善 |
| 7月 8日 | 望ましい行動を増やす |
| 8月12日 | あなた自身の生活を豊かにする 本人に治療を勧める |

◆わかちあいの会和歌山 うめの花◆

日時: 平成27年6月19日(金) 19:00～20:30 交流会
 8月 8日(土) 13:00～14:20 講演会
 14:30～16:30 交流会
 10月17日(土) 13:30～15:30 交流会
 12月19日(土) 12:30～13:50 講演会
 14:00～14:30 音楽会
 14:40～16:30 交流会
 平成28年2月20日(土) 13:30～15:30 交流会

対象: 大切な人を自死で失った方
 (家族・知人・友人)
 場所: 和歌山県精神保健福祉センター
 参加費: 200円(お茶、お菓子など)
 <一時保育あり>
 1週間前までにご相談下さい。

◆自死遺族相談◆



日時: 概ね毎月第4月曜日 13:00～17:00
 ※11月は第5月曜日、12月は第3月曜日
 対象: 大切な人を自死で亡くされた方(家族・知人・友人)
 場所: 和歌山県精神保健福祉センター
 【問合せ】
 自殺に対する相談電話「はあとライン」
 TEL073-424-1700(受付: 平日9:00～17:45)

◆“ひきこもり”家族のつどい◆

日時: 毎月第3水曜日 13:30～15:30
 場所: 和歌山県精神保健福祉センター プレイルーム
 対象: “ひきこもり”や“孤立”でお悩みのご家族
 【問合せ】ひきこもり地域支援センター ひきこもり相談電話「いっぽライン」
 TEL073-424-1713(受付: 平日9:00～17:45)



活動紹介

フリースペースメンバーさんの手記

フリースペースに参加して

N・K

フリースペースは同じような悩みを持つ人達が体験を共有し、自分一人ですらな気持ちを抱え込まないようにするためのグループ治療のような役割を果たしている場所だと僕は思います。

過ごし方や話題が決められているわけではないので、無理なく自分のペースで続ける事が出来るし、時間の過ごし方について要望があれば、職員さんに提案をして、試行錯誤をしながら充実した過ごし方、落ち着く空間を皆で作っていく場所だと思います。自分が抱えている事を誰かに話して聞いてもらうだけで、気持ちも随分ラクになります。どこにも居場所が無いと感じている方はまずは気軽に来てみて下さい。公共の機関なので、安心です。

就労や復学、精神疾患の症状改善やひきこもり、不登校の状態から脱け出すためのきっかけとして、何らかの悩みを抱えている方がフリースペースを利用して、悪い循環を良い循環に変えて幸せを実感出来るような生活を送るきっかけをつかんで欲しいと思います。

僕は現在、無職なので、会社勤めをしている人と人付き合いをするとお金もかかってくるし、知り合いに会う事自体が嫌になってきているので、ほとんど誰とも会わない生活が5ヶ月くらい続いています。失業状態になってからは一年になるので、だんだん動作も鈍くなってきているようにも感じます。

近頃、学校に行く夢を何度も見ます。受験生というパターンの夢もあり、夢とは気付きもせずに「勉強ばかりで嫌だなあ、早く受験終わらないかなあ」と夢の中で憂鬱になっていて、目が覚めてからも「あ、もう朝か、学校に行かないと…」としばらく状況を把握出来ず、ようやく夢だと気付くと、学校はもうとっくに卒業してしまって受験とは無縁の生活をしている現実に微かな解放感を感じつつも、今は無職の身で、糸の切れた凧のような人生になってしまっている失望を同時に味わう事もありま

す。

また、先日、祖父の一周忌がありました。親戚が集まる時が一番つらくて、その時には、否応なく、無職の惨めさを感じてしまいます。「現在、無職です」とはさすがに言えないので『定職に就き、それなりに順調に過ごしている』ような顔をして、喪服を着て仏事に参加している自分自身に負い目や劣等感を感じてしまいます。

正社員で勤めている人にとっては長期の無職の人が何故、無職を続けているのか理解出来ないと思います。僕自身も昔はそうでした。不登校の人が何故、学校に来れないのかは、その立場になってみないと分からない事です。普通に学校に行っている人には、学校に行きたくても行けない状況というのはいまい実感がわからない事なので、支援をしてもなかなか復帰が難しい問題である事をその立場になってようやく理解する事が出来るようになりました。

弟や従兄弟は皆、正社員で働いているから、肩身の狭い思いをするだけなので、本当は法事にも行きたくないけど、無職で用事もなく毎日、自由時間しかない生活を送っている僕だけが欠席すると、後が大変な事になるような気がするので、その事を考えると行きづらくても無難に参加しておこうという気持ちになります。くよくよ考えてもどうにもならない事なので、四の五の言わずに今、やるべき事を前向きに全力で取り組む事が大切だと思うし「明日から始める」では多分、いつまで経っても今の状態からは抜け出せないように感じます。自分一人で悩みを抱えていてもずらずと長期化して悪化していきただけなので、まずは行動に移してみる事だと思います。

引きこもりがちになっている皆さん、独りで抱え込まず、皆に自分の気持ちを話してみる事をお勧めします。まずは気軽に遊びにいらして下さい。

こころの集い

「落語」と「講演会」の開催について

和歌山県精神保健福祉協会の総会と講演会「こころの集い」を開催します。

開催日時 平成27年7月14日
〈総会〉 13:15~
〈落語+講演会〉 14:10~15:40
テーマ 笑いところの健康
講師 落語家 桂 枝曾丸氏

---桂 枝曾丸さんのプロフィール---

昭和43年 和歌山市生まれ。

昭和62年12月、五代目桂文枝に入門。

平成10年10月上方落語の名跡「二代目桂枝曾丸」を襲名。

全国各地で独演会を行う一方、TVキャスターやコラムニストとしても活躍されています。

また、青少年育成活動や更正保護活動、人権啓発活動など地域の活動にも積極的に取り組んでおられます。



和歌山メンタルヘルスニュース

<研修案内>

和歌山県精神保健福祉センター主催 災害時等こころのケア研修会

子どものための心理的応急処置(PFA)習得研修

- 日 時 平成27年7月29日(水) 10:00~17:00
- 場 所 和歌山ビッグ愛9階 会議室A
- 講 師 久保千晶氏(こどもメンタルクリニック芝、臨床心理士・精神保健福祉士)
江部克也氏(長岡赤十字病院 集中治療部長、赤十字災害医療コーディネーター)
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンスタッフ
- 対象者 教育、医療、福祉などの現場で子どもと接している方、災害などの緊急時に支援活動を行う方など
- 定 員 30名(定員が超過した場合は、現に子どもと接する職にある方を優先させていただきます。)

■PFAを実施する場所は？■

避難所、学校、幼稚園、保育所、医療施設や一般家庭などで、支援者が被災した子どもやその保護者と養育者と直接接する場所です

■セーブ・ザ・チルドレンとは？■

セーブ・ザ・チルドレンは、国連に公認された子ども支援の国際NGOで、30か国のメンバーがパートナーを組み約120の国と地域への支援を行っています。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは1986年に設立され、子どもの保護、防災、子どもに優しい地域作りなどの活動や東日本大震災緊急・復興支援を実施しています。

■研修ではどのようなことを学ぶの？■

被災者や被害者が現状以上のダメージを受けることのないよう配慮しながら、回復を手助けする方法を学びます。危機的な状況にいる子どもが示す反応を事例と共に年齢別に学び、ロールプレイなども交えながらPFAの手法を習得していきます。防災の取り組みの一環としても活用できます。

※申込先

和歌山県精神保健福祉センター

電話:073-435-5194 FAX:073-435-5193

7月24日(金)までにお申し込み下さい。

<開催報告>

【長期化したひきこもりの支援】

平成27年3月4日(水)、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛にて、ひきこもり支援従事者研修として、標記の研修会を開催しました。研修会では、小野善郎(和歌山県精神保健福祉センター所長)がコーディネーターを務め、鴻原崇之氏(NPO法人エルシティオ)と長瀧信子氏(NPO法人ハートツリー)に事例発表していただきました。参加者から活発に質問や意見があり、若いひきこもりの方とは違った支援の方向性や関わりなどについて議論を深めることができました。参加者は32名でした。

【災害時等こころのケア研修会】

平成27年3月6日(金)、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛にて、岩手医科大学神経精神科学講座講師でいわてこどもケアセンター副センター長の八木淳子氏に「大規模災害後の子どもの中長期的ケアについて～東日本大震災の経験から～」というテーマで講義をしていただきました。災害後の初期対応や中長期的ケアの展開、診療ネットワークの構築、こどもの被災体験と回復、こどものトラウマ治療がどのようになされているかについて、詳しく教えて頂きました。被災地で子どもを継続的にケアしていくことは、ケアだけにとどまらず、復興そのものだと感じさせられた講義でした。参加者は、18名でした。

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。
今回は、やおき工房 所長 村上 和也さんです。

はーとふるネットワーク



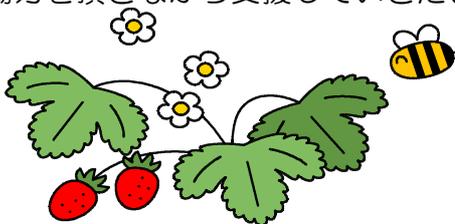
ー「やおき工房」とはどのような事業所なのか？

障害福祉サービス事業所『やおき工房』では2つの事業を行っています。一つは就労移行支援事業。もう一つは就労継続支援事業B型です。就労移行支援事業では2年間という利用期限が設けられていて、その間に一般就労をめざして就労訓練を行っています。26年度は5人の方が就職されました。就労継続B型は昔で言うところの『作業所』です。就職を目指したい方や少しでも工賃を稼ぎたい方、ひきこもりがちだった方の日中の居場所・相談場所などニーズは様々です。就労移行では法人内の給食センター事業を柱に、職場実習等を行っています。B型では菓子箱折りや梅干しの種抜き作業、スポーツセンターの委託清掃やゴルフセンターのボール補充作業などを行っています。

ー活動を展開していく上で、苦勞されることはどのようなことですか？

田辺・西牟婁地域ではB型事業所が大変増えてきています。利用する方にとっては、選択の幅も広がって自分に合った事業所を見つけることができます。事業所にとっては、選ばれる事業所になるべく努力を重ねまくらないといけない状況です。利用者のニーズ・地域のニーズに敏感でありまくりたい今日この頃です。

最近では発達障害の方の利用が増えてきました。自分たちの知識やスキルが足りずに、適切な支援ができていないのではと自問自答の日々を過ごしています。ポラリスさんをはじめ様々な機関の方の協力を頂きながら支援していきたいと思えます。



ー最近のトピックがあれば教えてください

もともと生活施設と相談畑でほとんどを過ごしてきた私なので、自分の作業所運営のセンスの無さに我ながら驚かされているというのがトピックと言えるでしょうか（汗）作業所ですから少しでも工賃を持って帰って欲しいと常に思っていますが、『まずはこれを優先すべき』とか『ここには随分うま味があるぞ』とか『これからの時代はこれだ』とかいう嗅覚がどうやら弱いようです。商才の神が舞い降りないかと切望する毎日です。その前にもっと勉強しろと言われてしまいそうですが…。職員一丸となって頑張っていきます。



ー今後の抱負を教えてください。

自立支援協議会 就労支援部会やセルフセンターにおいて共同受注窓口が動き出していますし、そこを通じた製品の大口受注も期待できそうですし、今のやおき工房にはない自主製品とやらを商品開発できたらなと思っています。職場実習先も開拓していければと思っています。田辺周辺の企業さんでちょっとでも関心がある方がいらっしゃったら是非に声をかけて下さい。あと自分的にはマッサージ屋さんの作業所をしたいなと勝手に考えています。（他の職員は理解してくれませんが…）実現は難しいか（汗）

ー次の方のご紹介をお願いします。

これからのやおき福祉会を担う『やおきの仁科さん』を紹介しないわけにはいかないでしょう。仁科さんからはいつも元気を頂いています。心が弱った時にはうってつけの方でしょうね。さらに『優しさライセンス』は段の腕前かもわかりません。4月からはゆうあいホーム（田辺市たきない町）にいらっしゃる仁科嘉隆（にしなよしたか）さんを是非に味わって下さいませ。

編集後記

障害福祉課長の巻頭言に今春スタートのTVドラマはこころに傷を負った人たちが主人公という特色がみられると。そう言えば、今年の米アカデミー賞の主演男優賞を受賞した「博士と彼女のセオリー」はALS患者である理論物理学者ホーキング博士の物語であり、主演女優賞は若年性アルツハイマーを抱える女性が記憶を失っていく日々を描いた作品でした。何かしら生きづらさを感じている現代人に、彼らの生き方が人間の生命力の輝きを見せてくれるのかもしれない。

